

愛の世界へ

原作者
脚色並監督者
撮影者

アシヤ
現代映画

脚作家森田光一
新星座女優立花芳子
同 松葉花子
バトロン 村島藤雄

大森 明
大森 勝
大森 賢一
大森 太郎

芦屋 桃子
浅野 節氏
柳 まさ子
鈴木 信子
藤間林 太郎
太郎 氏

主役

里見 明氏

樂屋番の爺 松本英一
「流れる酒」に監督
作品で、カーマンの大森勝氏の原作になるも
ので一万呪の長巻ものである。
焦略筋——森田光一はカブエーに戀人を待つた。
花燐の苦悶の餘光一は来ぬ人の幻を描いては場所で
花燐にヒントを得て「愛の世界へ」一篇の恋の間には構思が
の戀にいた。彼は愛するが故に唯だ戀人の幸福のため
三部曲創作中の光一は恋の間には構思が
戀愛の世界へ——一座の松葉花子も村島なみが
まらず苦しみ疲れて病床に就いた。かくして
恋の苦悶を嘗めた彼は平家物語の横笛と瀧
姫姑に逆上した花子は舞臺用の拳銃に實彈を装
置して文子殺害を謀つた。「愛の世界へ」一篇の恋の間には構思が
成した光一は聖者のやうな氣持で劇場を訪れた。文子の舞臺の出来た日々を書時失
ひた。突然文子の舞臺の袖で待つてゐた。突然文子の舞臺の袖で待つてゐた。
濟むる舞臺の袖で待つてゐた。突然文子の舞臺の袖で待つてゐた。
彼は火薬の執筆者へ倒れた。突然文子の舞臺の袖で待つてゐた。
行儀を知る者は誰も文子へ贈物をさしだした。突然文子の舞臺の袖で待つてゐた。
文子へ贈物をさしだした。突然文子の舞臺の袖で待つてゐた。
文子へ贈物をさしだした。突然文子の舞臺の袖で待つてゐた。